

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

赤潮・貝毒プランクトン調査の結果、魚類を死滅させるおそれがあるコクロディニウムポリクリコイデスが最大で 10細胞/mL、カレニア パピリオナセアが最大で1細胞/mL確認されました。今後、海色等には十分注意し、給餌などの作業を行ってください。

※(本日は、海水1mLでプランクトンの検鏡を実施しております。)

調査時間 (8:30~9:30)	水深	水温	塩分	溶存 酸素	コクロディニウム	カレニア	ギムノディニウム
					ポリクリコイデス	パピリオナセア	カタナータム
採集地点	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)	*1	*1	*3
片島出荷場 下図①	5	-	-	-	0	0	0
ヒロウラ 下図②	0	-	-	-	0	0	0
	5	-	-	-	4	0	0
猩々簪 下図③	0	-	-	-	0	0	0
	5	-	-	-	2	1	0
栄喜 下図④	0	-	-	-	0	0	0
	5	-	-	-	8	0	1
青瀬山 下図⑤	0	-	-	-	2	0	0
	5	-	-	-	10	0	0

\*1: 魚類を死滅させるおそれがある種 (細胞/mL)

\*2: 魚類を弱らせるおそれがある種、\*3: 麻痺性貝毒の原因種

※魚類を死滅させるおそれがある種の注意報及び警報値

	注意報	警報	数値の参考県
コクロディニウム ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1,000 細胞/mL	香川県

〈下図〉

